

【時間割コード】	※空欄
【科目名】	開発協力論研究Ⅲ
【英文科目名】	Theory of International Development Cooperation
【担当教員（代表者）名】	小林誉明
【開講学期】	春学期
【曜日・時限】	木曜日・3時限

【授業の目的（必須）】 授業で何を知らせてもらいたいのか。そのねらい、目的を示してください。

「国際開発協力」（特に政府開発援助：ODA）を巡っては様々な論争が繰り広げられてきたが、体系的に理解するための理論枠組や分析方法等は確立していない。これは、国際開発協力という事象が、様々な学問を総動員しなければ解けない「社会科学の応用問題」であることの裏返しである。つまり、本領域は、研究すべきテーマが無限に広がっている「学問のフロンティア」といえよう。これは、それなりの訓練を積み、フロントランナーとしての活躍の余地が残っていることを意味する。

本授業では、自らの手による研究成果創出（論文執筆）を上位目標として、以下の二点を直接的な目標として設定する。

- ① 先人が積み上げてきた研究（先行研究）の意味を理解し位置づけていくための「適切な枠組」を身につけ、国際開発協力のメカニズムを「体系的」に理解すること。
- ② その上で、掘り下げるべき「リサーチ・クエスチョン」を見つけて「自ら分析」を行うための下準備までを終わらせること。

【授業概要（必須）】 授業計画を第1回～第15回（4単位科目は第30回）まで、1回ごとに具体的に記述してください。

なお、定期試験を実施する場合には第16回目もしくは、第31回目に「定期試験」と記載してください。

講読文献等を含めた詳細についてはオリエンテーション時に案内する。

1. オリエンテーション

<体系的理解のための基本枠組の習得>

2. 国際開発協力の「主観モデル」と「客観モデル」
3. 国際開発協力のマクロ理論とその限界
4. 国際開発協力のミクロ理論とその限界
5. Principal-Agent（本人-代理人）理論による国際開発協力の構造把握
6. 社会的決定としての国際開発協力：世論と国益
7. 国際公共財としての国際開発協力：正義と国益
8. 国際開発協力の動的把握：援助卒業とドナー化プロセス
9. 言説としての国際開発協力

<基本枠組に基づく個別理論の検討>

10. 援助依存の理論とその問題点：モラルハザードと適応戦略
11. 援助協調の理論とその問題点：取引費用と機会便益
12. 貧困削減の理論とその問題点：DACモデルとアジア型モデル

13. 援助モダリティの理論とその問題点：財政支援とプロジェクト支援

<総括>

14. 開発効果の測定：副次的効果と多様なパス

15. まとめ

16. 文献レビューの解説

【履修目標・到達目標（必須）】 授業を通じて学生に何を習得させるか、期待される学習の成果等について、必ず記述してください。

履修により得られるキースキルについても、できるだけ記載してください。※学生を主語として記述してください。（例：「～ができる。」、「～ができるようになる。」）

本講義を通じて以下のスキルが習得されることが期待される。

- ① 限られた時間で一定量文献（外国語含む）を読み、論旨を把握できるようになる。
- ② 国際開発協力の基本構造を把握する枠組（視角）をもてるようになる。
- ③ 新たに仕入れた知識を、既往の知見のなかにマッピングできるようになる。
- ④ 複数の文献に書かれた内容を比較検討し、議論の死角を見つけ、自ら問題設定をできるようになる。
- ⑤ 先行研究を踏まえた上でオリジナルな議論を展開できるようになる。
- ⑥ 論理的なペーパーを書くことができるようになる。

【授業方法】 資料の配布や音声もしくは画像教材の活用など、授業の進め方について説明してください。

また、授業中の質疑・討論や小テスト、課題提出、レポート作成その他、授業方法に関する情報を記述してください。

毎回数本の文献（基本的には学術論文）を読んだ上で、レジュメを提出し、それをもとにディスカッションを行う。

【成績評価の基準（必須）】 「成績評価基準の標準化」との関係で、評価法とその配分を明記し、評価の観点を記述してください。

毎回の授業における、提出されたレジュメ（20%）、プレゼンテーション（20%）、討論への参加（30%）、学期末の文献レビュー（30%）をもとに評価を行う。

【教科書】 授業や授業時間外学習で使用する図書情報(購入を必須とするもの)を全項目入力してください。

ISBN は半角ハイフンなしで入力してください。

教科書を指定しない場合には、教科書1の書名欄に「-」と入力してください。

教科書 1	ISBN	4326653507	書名	『貧困問題とは何であるか：「開発学」への新しい道』		
	著者名	下村恭民・小林	出版社	勁草書房	出版年	2009

		誉明（編）				
教科書 2	ISBN	4887309929	書名	『開発援助がつくる社会生活：現場からのプロジェクト評価』		
	著者名	青山和佳・受田宏之・小林誉明（編）	出版社	大学教育出版	出版年	2010
教科書 3	ISBN	4326503440	書名	『開発政治学入門：途上国開発戦略におけるガバナンス』		
	著者名	木村宏恒他（編）	出版社	勁草書房	出版年	2011
教科書 4	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
教科書 5	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
<p><教科書補足> 教科書の使用法、教科書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報などを記述してください。</p> <p>特にない場合には「-」と入力してください。</p>						
講読文献については、オリエンテーション時に提示する。						

【参考書】 授業や授業時間外学習の参考になる図書情報(購入が必須ではないもの)を全項目入力してください。

ISBN は半角ハイフンなしで入力してください。

参考書を指定しない場合には、参考書 1 の書名欄に「-」と入力してください。

参考書 1	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 2	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 3	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 4	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 5	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 6	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 7	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 8	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	
参考書 9	ISBN		書名			
	著者名		出版社		出版年	

参考書 10	ISBN		書名	
	著者名		出版社	出版年

<参考書補足> 参考書の使用方法、参考書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報などを記述してください。
特にない場合には「-」と入力してください。

必要に応じて、毎回の講義にて提示する。

【履修条件および関連科目】 当該授業を履修するにあたって、あらかじめ履修すべき授業科目などの条件がある場合に明記してください。
また、並行して履修することによって教育効果を高める授業科目などの情報がありましたら記載してください。

【キーワード】 5語以内で重要語句(かっこ書きで英語併記)を入力してください。語句は半角カンマ「,」(全角は不可)で区切ってください。
語句抽出が困難な科目は「-」を入力してください。
キーワードは「シラバス検索」で利用されます。

社会科学,国際協力,ODA,開発途上国,対外政策

【備考1】 学習動機を高める学生へのメッセージやその他の注意事項等を入力してください。

【注意事項】 本講義は、国際開発協力に関する学問の最先端の知見を扱うアドバンス・コースとなる。広く国際協力や国際開発に関する学部レベルでの基礎知識について習得済みであることを前提として授業を進めるが、習得済みでない場合であっても自己研鑽によってキャッチアップする意欲のある学生は歓迎する。

【メッセージ】 これまで開発協力に関する様々な主張が展開されてきているが、それらが依拠する議論の多くは「仮説」でしかなく、時代ともに変遷するするし、立場や文脈が異なれば評価も異なりうる。つまり、普遍的な「正解」が存在しないのが正解と思われる。しかし、実際に途上国に対する援助政策は、学問的に「正しい」とされた理論に基づいて実施されるという現実がある。よって、もしも既存の援助のあり方に問題がありそれを是正していこうとするのであれば、(ジャーナリスティックな批判や運動ではなく)アカデミックな場において既往の研究成果を反証していかなければならない。本授業は、そのための訓練の場ともなりうるであろう。

【備考2 [学外非公開]】 当該科目の説明のうちで、学外へ非公開とすることが望ましい事項についてはこの欄をご活用ください。

【参照ホームページ】 学生の学習に効果的な情報が掲載されているホームページがあれば入力してください。
アドレスを入力すると、公開画面に、自動的にリンクが張られます。
複数のアドレスを入力する場合は、スペース(空白)をあけて入力してください。

